

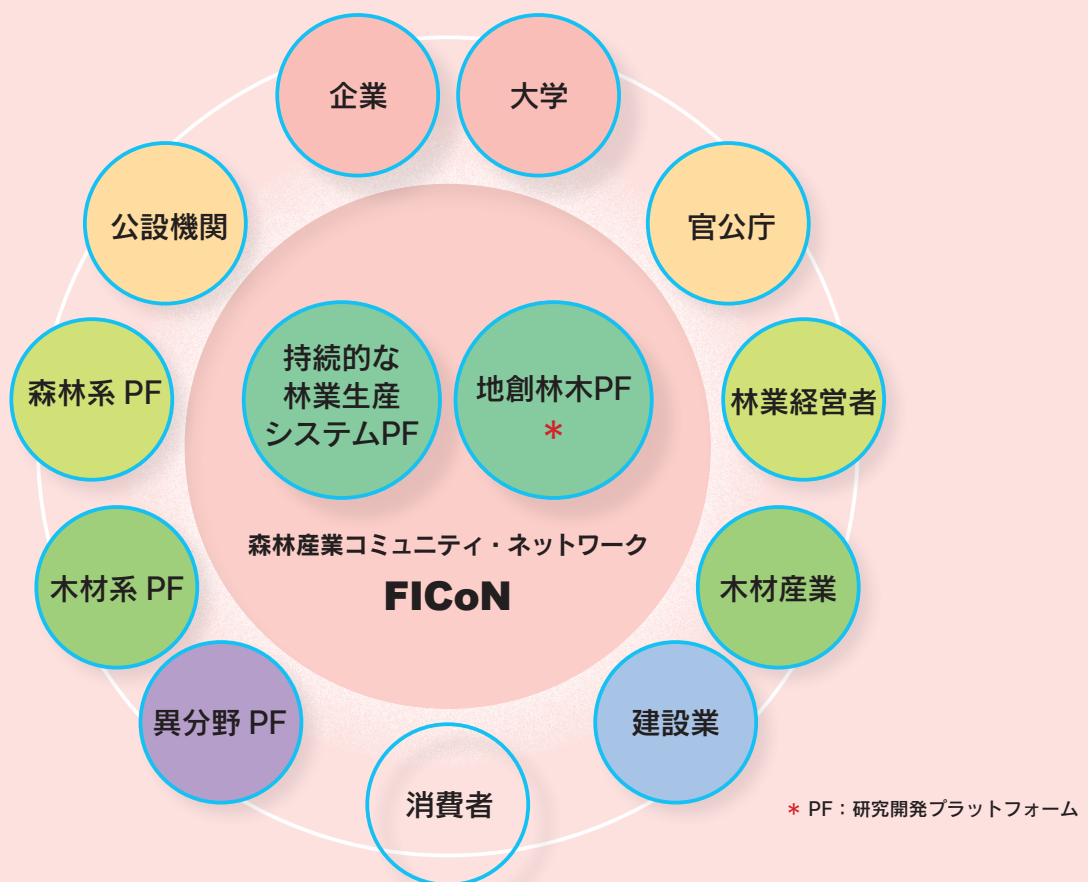
森林産業 コミュニティ・ネットワーク (FICoN)

ファイコン（仮称）

FICoN は、Forest Industry Community Network の頭文字をつないだ略称です。

FICoNは、「地域の木材流通の川上と川下をつなぐシステム・イノベーション」の取り組みを受け継ぎ、森林に関わる産業にイノベーションを創出しようとする活動を推進するため、ウェブ検討会等のイベント開催による情報の共有化と活用に向けた意見交換、研究コンソーシアムや共同事業等の立ち上げに向けたマッチング支援など、今年4月の活動開始に向けて、設立準備を進めています。

「森林産業」とは、従来の林業・木材産業の概念を拡大し、森林に関わる産業をシームレスに取り込むことで、川上から川下までを総合的に捉える産業としたいという発想から生まれた言葉です。**FICoN**では、異分野、異業種の方も交え、林業経営者、企業、大学、公設機関など、様々な立場の方々が集まって意見交換や協創ができるコミュニティとしてのネットワークづくりを目指します。



地創林木プラットフォーム事務局
(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所内
jimur-chisourinboku@ml.affrc.go.jp

FICoN に加わってみたい方や、興味のある方は、事務局にご連絡ください。なお『「知」の集積と活用場[®]』の研究開発プラットフォーム関係者、およびこれまでの検討会への参加者には、そのままと参加いただけるよう別途ご案内します。

「地域の木材流通の川上と川下をつなぐシステム・イノベーション」には『「知」の集積と活用場[®]』より以下の研究開発プラットフォームが参画しました。その連携を今後の活動にも引き継いでいきます。

- スマート林業研究開発プラットフォーム（情-20）
- 持続的な林業生産システム研究開発プラットフォーム（情-41）
- 林内人力作業支援機械研究開発プラットフォーム（情-47）
- 農林水産業のためのナノテクノロジーを用いた新素材開発・新用途開発プラットフォーム（生-1）
- 中層・大規模木造建築推進のための研究開発プラットフォーム（生-2）
- 木質外被研究開発プラットフォーム（生-4）
- 木質バイオマス燃焼灰利用研究プラットフォーム（生-9）

- 優良な林業用種苗の生産・普及に関するプラットフォーム（種-6）
- 葉用系機能性樹木の栽培と利用のための研究開発プラットフォーム（新-12）
- きのこときの生理・生態の科学的基盤とそれらを応用した技術研究開発プラットフォーム（新-13）
- 樹木類への生物被害に関する連携研究開発プラットフォーム（新-14）
- 地域創生に資する森林資源・木材の需要拡大に向けた研究開発プラットフォーム（略称：地創林木プラットフォーム）（新-31）